

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2015 夏
vol. 8



森の中で暮らす。寝床と遊び場を、自分で選べる自由。(県立君津亀山少年自然の家)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「自然の恵み」	
□3～5月の現場レポート	…4	□シニア自然大学	
・主催事業		「春季宿泊研修(本科)」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	
□7月～10月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

昨年の秋口から進めてきた仮認定 NPO 法人への認定手続きが無事終了し、4月1日付けで千葉県知事から認定されました。

これによって3年以内に仮認定から認定へと衣替えをする足がかりができました。

平成15年5月に一般 NPO 法人としてスタートし、これまで12年間にわたって子どもからシニアまで幅広い世代の皆様へ、自然をテーマに体験活動を提供すると共に、高齢化・過疎化の進む地域課題に向き合ってきました。

合わせて県や市の公共施設の管理運営にも携わり、施設利用者が安全、安心して利用できることはもとより満足度100パーセントを目指した運営に努めてきました。

ようやく認定 NPO 法人取得へと歩みだしましたが、次代を担う子ども誰もが等しく自然の中でいろいろな事を体験し、心身共に逞しく成長できるよう懸命に使命を果たして行きたいと考えております。

こうした活動を継続するために、一人でも多くの方々からの浄財をお願いさせて頂いておりますが、お陰様で仮認定 NPO 法人となりましたので寄附をされた皆様の負担を軽減するための税制優遇措置がございます。

是非こうした税制優遇措置をご活用ください。

千葉自然学校は、これからも設立時の原点を忘れることなく一歩ずつ着実に前進してまいります。

皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。



平成 27 年度辞令交付式にて



竹1本あれば十分！遊びの天才たち(子どもキャンプ)



第四期開講式(千葉シニア自然大学)

「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から⑦

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬少年自然の家 所長 神保清司

海が良い季節です。快晴で25度前後の気温、どこまでも広がる海原。緩やかにうねる波間に漂う大量のヒジキ。潮が引いた磯場で岩の下を覗いてみると、ヒライソガニやイソカニダマシが逃げ出します。岩の裏にピッタリくっついていてのはムラサキウニやバフンウニなど大量のウニの赤ちゃんたちです。そして潮だまりの水中を静かに覗いて見れば、アゴハゼ、クモハゼ、ギンポなどたくさんの魚たちの姿があります。

この季節、老若男女問わずたくさんの方を海の世界へ案内します。上記のような生きものたちと出会うコツを伝えたと誰でも簡単に楽しめるのが磯遊びの良いところです。その生きものがふれても安全ならば是非素手で触って下さいと声を掛けます。硬い、やわらかい、ツルツル、トゲトゲなど生きものの「命」と生きざまに直接触れて感じてほしいという思いで海を案内しています。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「森の生きものたち」

当施設の周辺は豊かな森が広がっています。サル、シカ、イノシシ、ウサギ、キョン、リスなど様々な動物が暮らしています。その中で、少し困ったことをする生きものが「ヤマビル」です。

ヤマビルは田んぼにいるヒルとは違い、通常森の中に住んでいます。落ち葉の下や水辺など湿っている場所が大好きで、逆に乾燥している場所は苦手です。ヤマビルがする困ったこととは人間や動物の血を吸うということもありますが、それ以上に見た目！大半の人はヤマビルを見つけると、イヤな顔をします。大人のイヤそうな顔を見ると、子どももイヤがります。



では、先入観を持っていない子どもに大人がヤマビルのことを楽しそうに伝えたら、どうなるのでしょうか。結果、好奇心溢れる眼でヤマビルを見つめる子どもの姿がありました。中にはヤマビルを見つけ、喜ぶ子どもの姿も！

ヤマビルが生態系の中でどんな役割を担っているかは分かりませんが、仮にヤマビルがまったくいなくなってしまうと、何らかのバランスが崩れるのだと思います。見た目は確かにかわいいとは言えませんが、大人の先入観を子どもに伝えないようにしていきたいなと感じています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 平野祐仁

「公園と外来生物」

大房岬自然公園は南房総国定公園の大房岬にあり海拔0～80m位の間に位置します。国定公園と言っても入園規制がある訳でもありませんので人の出入りは自由です。海外の方も多く訪れます。最近、利用者の方から言われたのが、『「メリケントキンソウ」が芝生園地の脇に群生しているから今のうちに駆除した方が良い。』とのご意見でした。名前を聞いても良く分かりませんでしたので、ネットで調べて見ますと、結構駆除情報がでていました。外来生物でした。

こいつ、一見問題無い様に見えますが、実を結ぶ（結実）と実の周りに2mm程のトゲがあり、肌などに刺さりケガをする恐れがある厄介者でした。

よくよく調べて見ますと、園地の芝に広範囲に広がっていくことが判明しました。多くの方が訪れるだけに外来生物が知らないうちに増えていたようです。人に害を及ぼす植物なので駆除を始めています。皆さんもご注意を！



③④⑤月の現場レポート

《主催事業》

春休み・子ども

モンキークライミングキャンプ

～おさるになって登ろう！？～

① 3/8 (土)～9 (日) 1泊2日 施設泊 大房岬少年自然の家 小学1～6年生

◆モンキークライミング/木登り/焚き火でおやつ



1日目は、専用の道具を使って木登りに挑戦。大房の運動園地にはせんだんの大木があり、子どもにとっては高さもあるチャレンジな巨木です。何度も上り下りを繰り返して行く姿がおさるの様でした。

2日目は、雨となりましたが、自然公園散策に始まり、軒下を利用して焚き火を起こし、マッシュマロを焼いたり、お弁当のコロッケやウインナーを炙りました。雨降りなんてなんのその。しっかりと遊んだ2日間となりました。

春休み・子ども

富士山洞窟アドベンチャーキャンプ

～未知の旅「洞窟」にチャレンジ～

3/26 (木)～28 (土) 2泊3日 施設泊 静岡県 朝霧野外活動センター 小学1～6年生

◆森の散策/洞窟探検/紅葉台ハイキング/焚き火



春休み特別プログラム。富士山麓に洞窟探検に出かけました。

到着した足で、巨木の眠る森へハイキング。全員でも囲みきれない巨木にびっくり！

2日目。洞窟探検に出発です。腹ばいにならないと抜けられない穴に大苦戦。別の洞窟ではコウモリを発見。

3日目。最終日は樹海や富士山、南アルプスまで見渡せる山までハイキング。大感動の景観がみんなを待っていてくれました。大自然を感じたキャンプになりました。

週末・子ども

ターザンキャンプ

～ナイフ・火・ロープを使いこなす2日間～

5/4 (月)～6 (水) 1泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 年中～小学生

◆秘密基地づくり/火起こしで野外料理/ターザン遊び/竹クラフト(弓矢づくり)



1日目は、秘密基地づくりを中心に行動開始。各班のシンボルフラッグを作成し各テントに設置しました。

2日目は、火起こしチャレンジ。メタルマッチで、焚き付け用にほぐした麻ひもを使いました。なかなか着火しないところが肝。頑張って火が起こった時は子どもの大歓声が響き渡りました。ターザン遊びは子どもが1番楽しみにしていた遊びの1つ。ブランコやロープでもり上がりました。

最終日は弓矢作り。苦戦はしましたが、最後までやりぬきお土産にできました。

週末・家族

春野草探し&タケノコほり

4 / 25 (土) 日帰り 月出野外活動センター (市原市月出)

◆山菜とり／たけのこほり／野外調理

親子で楽しむ企画がスタート。月出野外活動センターでたけのこ掘り、山野草つみを楽しみました。お昼は採った野草でピザ作りもしました。親子で過ごす自然体験をこれからも続けて行きたいと思います。



週末・子ども

お山を歩こう Kids 編「チャレンジ伊予ヶ岳」

5 / 17 (日) 日帰り 千葉県南房総市 伊予ヶ岳周辺



天候は、快晴！頂上からは、富山など房総の山並みがみごとでした。初めての山登りの子どももいました。子ども4名とスタッフ4名で楽しくまたチャレンジできた、大満足な1日を過ごすことができました。

大人(シニア)

房総を歩こう「安房神社から大眺望の待つ布良大山へ」

3 / 14 (土) 日帰り 千葉県館山市 布良大山」周辺



館山市の安房神社がスタート。境内には小桜が満開でした。野鳥の森を抜け天神山の頂上へ。バリエーションルートを通り布良大山へ。太平洋を望む大眺望の地でのお昼ご飯は最高でした。

大人(シニア)

房総を歩こう「亀山湖から秘境ハイキング」

4 / 18 (土) 日帰り 千葉県君津市



天候は、快晴！絶好のハイキング日和です。山野草の達人、細川講師を迎え、入山口から早速山野草のレクチャーが始まりなかなか前に進みません。手掘りのトンネルが雰囲気を出し秘境スポットで楽しい1日を過ごしました。

大人(シニア)

房総を歩こう県外編 「芝桜の秩父琴平丘陵ハイキング」

5 / 2 (土) 日帰り 埼玉県秩父市周辺



お天気にも恵まれ、ゴールデンウィークに新緑の尾根歩きを楽しみました。琴平丘陵は新緑の尾根道が続きます。秩父のシンボル武甲山も見え隠れします。羊山公園で芝桜を楽しみのんびりと家路につきました。

《ネットワーク・受託事業》



流山おおたかの森ショッピングセンター

「おおたか知育塾」

先日、流山おおたかの森S.C（流山市）が主催する「おおたか知育塾」のお手伝いをしてきました。幼児・小学生のお子様がいるご家族を対象にした、ナイフを使った火起こし体験と簡単アウトドアクッキングのアウトドア教室です。

ナイフや火を危ないものとして、子どもから遠ざける大人や環境が増えていますが、危ないことを理解させうえて、正しい使い方とルールを教えるのが私たち大人の役目ではないでしょうか。子どもは真剣な表情でナイフを握り、そのチャレンジを大人がしっかり見守り、声をかける。とても大切な時間だと感じました。今後もこういった機会を少しでも多く作りだしていきたいと思います。

おおたか知育塾では秋にステップアップ編があり、千葉自然学校も年間を通して様々なイベントを実施しています。親子でチャレンジしてみませんか？
(文：佐藤玲子／かつを)



二松學舎大学附属高等学校 1 年年オリエンテーション

「アドベンチャーポイントラリー指導」



近畿日本ツーリスト様より依頼を受けて、二松學舎大学附属高等学校 1 学年 260 名の生徒を南房総に迎えてオリエンテーション合宿の中、4月17日の活動のお手伝いをさせていただきました。

千葉県立館山運動公園の施設を利用して、地図を頼りに班ごとに協力をして広大な敷地を巡るプログラムを体験してもらい、新1年生の仲間作りのきっかけを提供しています。

有人ポイントと無人ポイント計16か所を回る中で、有人ポイントでは仲間と協力しないと解けない課題を出したり、無人ポイントではひらめきや一般常識を問われる課題があったりとゲーム形式にした様々な課題をクリアする中で会話や交流、助け合いが生まれます。

ルールを守って楽しみながら安全に活動を行うこのプログラムは、新たな仲間たちと関係を作るこの時期に向けたプログラムだと感じています。
(文：畑野佳昭／かつぱ)



ネットワーク事業

【上総エリア事業部会の様子】

上総エリアは現在14団体が活動中で、年間3～4回のペースで事業部会を実施しています。今年度は5月22日（金）に第1回目の事業部会を「森林塾かずさの森」で実施しました。

新緑がきれいな森、そして代表の岩田さんの生き物や命の繋がりのお話にみなさん魅了され、かずさの森のフィールドに潜む無限の可能性や、自身のフィールドに持ち帰りどう活かせるかという視点で活発な意見交換がされました。岩田さんが杉で作った温かみのあるテーブルとイスセットは、購入希望者が続出するだろう！と話が盛り上がりました。

これからも人と人、人と自然を上手に繋げていけるように、横の繋がりを大切にしながら積極的に活動をしていきたいと思います。

(文：齋藤みゆき／みら)



■こんな取り組みもしています■

認定NPO法人を目指して…ご寄付お願い

認定NPO法人に必要な8つの要件のうちの1つ、パブリックサポートテストをクリアするために、寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひ宜しくお願いいたします。

▼振込先▼

＜郵便局＞ 【郵便振替口座番号】00170-5-259431 【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬少年自然の家

「豆っこひろば」

今年度第1回の乳幼児とその保護者を対象に行う「豆っこひろば」が行われました。テーマは、「春の森でおもいきり外遊び」です。親子での交流、親同士の交流、子ども同士の交流を目的に行いました。最初は親子同士でじゃんけんをしたり、肩たたきをしながら仲良くなるゲームです。お互いにふれ合ったり、目と目を合わせ、距離がぐっと縮まりました。

次は森の中での活動です。まずは茂みの中の宝探し。茂みに隠れた宝をすべて見つけ出します。普段じっくり見ることのない茂みも、良く見ると虫がいたり、新芽があったりと発見がありました。続いて落ち葉でじゃんけん大会。大きい葉っぱ、小さい葉っぱ、ギザギザな葉っぱなどテーマを決めてお友達と勝負しました。



乳幼児期の自然体験が、成長に大きく影響してくると言われています。

感覚（五感）を研ぎ澄まし、体を使い、自然の中で人とふれあう、そんな豆っこひろばにできたらと思っています。

（文：白井健/ねぎ）

千葉県立大房岬自然公園

「岬レンジャー① 海川カニカニレンジャー」

岬の自然を守るために、森や海辺を巡回や生き物達の調査を行う大房岬の子ども向けイベントです。小学校3年生から6年生が対象で、自然公園のスタッフと共に自分の足と感覚を使って年間4回行います。今回は大房岬の代表「アカテガニ」を調べました。アカテガニがどのような場所にどれくらい生息しているのか、磯場から滝へ向かい上流の川までカニを追いかけます。とても早く動き回るカニが多く、またハサミも強力でした。バケツに捕獲して観察してみると、驚きの事実が判明しました。



どうやら、5月終わり頃に滝のそばや川の周辺に生息しているカニはアカテガニと近縁のベンケイガニという種類とのこと。7月から8月にかけて海岸を赤く染め上げるカニはどちらかまだ分かりません。しかし、実際に調べてみることで大人や子どもも関係なく面白い発見があるのを再確認できるイベントでした。今回、調べたことは大房岬ビジターセンター展示室に公開予定ですので、興味のある方はぜひ見に来てください。

（文：飯塚伊代/まりも）



千葉県立君津亀山少年自然の家

「森のアスレチック」

新緑が眩しい5月6日（祝）、主催事業「森のアスレチック」を開催しました。

この事業は、弊所で数年来実施しているもので、人気が高くキャンセル待ちも多いため、昨年「午前の部」を増設して実施しました。今年は併せて約100名の方が家族や友だちと参加されました。この事業の最大の魅力は、アスレチックや遊具単体の面白さもさながら、新緑のすがすがしい「きみかめの森」の中で、大人も子どもも伸び伸びと遊べることです。

今年は「ターザンロープ」、「ハンモック」、「ブランコ」、「薪ボーリング」、「フリスビーチャレンジ」に加えて、「ビー玉ころがし」、「ムカデ歩き」、「手つなぎわたり」といった、他の人と協力しなければ成功しないチャレンジが待っていました。不登校気味のお子さんを持つお母様が、他の子どもと笑顔で遊ぶ我が子の姿に驚いていらっしゃいました。実は、私たちは、そういうシーンを自然の中でよく目にします。「森×遊び&冒険」のなせる業かもしれません。

（文：内田優子/うっちー）

こんなことにチャレンジしています！

『育児休暇からの復帰』

私事で恐縮ですが、約1年半強の産休育休を終え、千葉自然学校スタッフとして復帰させて頂きました。「仕事と家庭の両立」は、自分にとって20代後半からの夢でもありました。自然体験の業界において、組織の中で女性が家庭を築き子育てしながら務めるということは、まだまだ例が多くありません。

私がこの世界に飛び込んだ16年前、職場には現場の女性職員はいませんでした。少しずつ増え、今では多くの女性職員がこの業界で活躍しています。家庭を築いても好きな仕事を続けることができれば、さらに人材も増え多様化し、より魅力ある業界になるのではないかなと思うようになりました。

模索しながら仕事に邁進し、30代半ばで結婚、翌年双子の女の子を出産。環境がめまぐるしく変化する中、無我夢中で育児や家事に没頭し、1年があっという間に過ぎました。双子育児は、想像をはるかに超えて過酷なもので、育休を終える頃、本当に復帰することはできるのだろうかと不安にもなりました。

職場復帰について周囲の反対もありましたが、今の子どもにとって『同年代の子どもや大人と育ちあう場』が必要と夫婦で結論に至りました。2か月たった今、1歳8か月の娘たちは保育所にも慣れ、家に帰ると楽しそうに保育所で学んだ手遊び歌などを披露し、豊かに成長しています。

双子は体調を崩すと長期化するリスクもあり、悩みながらも千葉自然学校のご支援、保育所のサポート、家族の協力のもと、今を過ごさせて頂いています。「ワークライフバランス」を大切に、身近なロールモデルの1つになれるよう、チャレンジ中です。

（文：谷慶子/けろっぴ）





7月

大房スペシャルツアー！磯の生きもの発見ツアー

大房岬の磯場は海の生き物の宝庫。生き物の種類は 100 種類以上！どんな生きものに会えるかな？

【開催日】7月18日（土）、19日（日）
 【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,500 円
 【会 場】大房岬自然公園内 タイマイ浜周辺（南房総市）
 【連絡先】大房岬少年自然の家
 TEL：0470-33-4561 E-mail：event@chiba-ns.net

カブト虫とBBQの集い

カブト虫とりと来年のための床づくり、ネイチャーゲームとクラフト飛行機で遊び、昼食は皆でバーベキューを囲んでワイワイ。そのほか、ハンモック、ブランコ、吊り橋渡りなど、木陰で涼しく遊べます。

【開催日】7月25日（土）※雨天決行
 【対 象】親子（4才～大人）
 【参加費】大人 3,000 円、子供 2,000 円、3 才未満無料
 【会 場】フォレスト in 岩名（佐倉市）
 【連絡先】佐倉みどりネット
 TEL：090-5579-8609（大谷）

動物やパズルをつくろう

電動糸のこぎり機械を使って、動物の切抜きやパズルを作ろう！

【開催日】7月25日（土）
 【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,100 円
 【会 場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

シュノーケリングで魚と泳ごう！

身近な海でシュノーケリング体験。全身の感覚を使って海を感じ、魚と泳ごう！初心者歓迎です。シュノーケリングセットレンタル無料。集合解散は千葉駅、東京駅、現地。親子参加は現地集合解散になります。

【開催日】7月26日（日）
 【対 象】小学生3年生～中学生、親子参加可
 【参加費】会員 6,500 円（現地集合解散 5,800 円）、ビジター 7,500 円（現地集合解散 6,600 円）
 【会 場】千葉県鋸南町
 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
 TEL：0470-55-8322 E-mail：toi-awase@elfin-ee.com

海チル川チルアドベンチャー

海・川の魅力を体で感じることができる子ども達を「海チルドレン・川チルドレン」と呼ぶ。潮が引いたときにしか行けない海岸線を探検し、森の奥深くにある滝つぼに飛び込んでみよう！

【開催日】7月30日（木）～8月2日（日）
 【対 象】小学生、中学生
 【参加費】会員 36,000 円、一般 39,000 円
 【会 場】大房岬少年自然の家、君津亀山少年自然の家
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net



8月

夏休みこども自然教室

自然の素材を使った工作。貼り付けるベースは「板：①④」「リース：②」「バッジ④」の3種類。自分だけの作品をお楽しみください。（制作時間：約90分）

【開催日】8月1日（土）～8月31日（月）
 【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】①木の実のクラフト（板）600 円②木の実のクラフト（リース）1,000 円③木の実のクラフト（バッジ）600 円④貝殻のクラフト（板）600 円
 【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

戦国水鉄砲キャンプ ～2015 月出キャンプ城 夏の陣～

自らの力を頼りに、月出キャンプ城の城主を目指せ！集え武将達！水鉄砲を自らの手で作り、相手を倒せ！三国入り乱れて大合戦。数回の戦を経て、月出キャンプ城の城主の座を勝ち取るのは誰だ！

【開催日】8月8日（土）～9日（日）
 【対 象】幼児（年中、年長）～小学生
 【参加費】会員 13,000 円、一般 16,000 円
 【会 場】月出野外活動センター（市原市）
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

イルカの島ねいちゃーずキャンプ

イルカの棲む島、東京の大自然「御蔵島」。野生のイルカと泳ぎ、島の自然とふれあう。イルカという野生動物を通して、生きもの・環境・自然のつながりを感じる体験キャンプです。

【開催日】8月18日（火）～22日（土）
 【対 象】小学生4年生～中学生 ※シュノーケリングで泳げる
 【参加費】小学生：一次応募 60,000 円、二次応募 64,000 円、中学生：一次応募 60,000 円、二次応募 66,000 円
 【会 場】東京都御蔵島
 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
 TEL：0470-55-8322 E-mail：toi-awase@elfin-ee.com

里山里海大冒険キャンプ

今年の夏は築 180 年の古民家「ろくすけ」に泊まって、日本の里山里海の遊びを満喫しよう！虫とり、海遊び、ナイトハイク、たき火、みんなでそろっての食事、流しそうめんも！

【開催日】8月18日（火）～21日（金）
 【対 象】小学生、中学生
 【参加費】会員 33,000 円、一般 36,000 円
 【会 場】かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」（南房総市）
 【連絡先】千葉自然学校
 TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

オリジナル時計作り

文字盤を自然素材（木の実等）や小鳥の切り抜きに変えて、オリジナルの掛け時計を作ります。

【開催日】8月22日（土）
 【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,600 円
 【会 場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187



9月

バーニングアート

電熱ペンを使い木材を焦がして絵を描きます。

【開催日】9月5日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,100円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

里山散策と陶芸体験

日帰りびゅう商品「鉄道で楽しむ千葉の旅」。年間8回。東京駅9時発の特急に乗って鴨川へ。専用バスで移動しながら、みんなの里で昼食とお買い物。大山千枚田で散策のあとに、鴨川陶芸館で陶芸体験。亀田酒造でお買い物も楽しめる贅沢な一日。

【開催日】9月: 11日(金)、12日(土)、25日(金)、26日(土)、10月9日(金)、10日(土)、23日(金)、24日(土)

【発売予定日】7月29日(水)

【発売箇所】びゅうプラザ、びゅう予約センター

【問い合わせ】鴨川陶芸館

TEL: 04-7098-0012

E-mail: info@kamogawa-tougeikan.com

カヌー&フィッシングキャンプ

亀山湖で漕いで漕いで釣りまくり! カヌー初挑戦でも大丈夫。湖の奥まで出発だ!

【開催日】9月20日(日)~22日(火祝)

【対象】小学生、中学生

【参加費】会員 28,000円、一般 31,000円

【会場】君津亀山少年自然の家、亀山湖

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net

つりたべ: お月見夜釣りと海幸山幸BBQ

十五夜前日ではありますが、お月見しながら夜釣り。2日目は朝方からまた釣りをし、里山の民家の軒下で釣った魚、そして地元の食材をメインにBBQ&アウトドア料理でゆったりとランチタイム。小雨実施の予定。

【開催日】9月26日(土)~27日(日)

【対象】18才以上

【参加費】会員 11,000円、ビジター13,000円

【会場】千葉県南房総市

【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ

TEL: 0470-55-8322 E-mail: toi-awase@elfin-ee.com

手作りパスタに挑戦!

手作りのパスタを作ります。手作りのソースとあわせて、打ちたて・茹でたてのパスタで美味しいランチを召し上がれ♪

【開催日】9月29日(水)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,100円

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822



10月

「鴨川の石造物百選③」

鴨川の石造物百選をめぐるシリーズの第3回目。主基(すき)・田原地区を歩きます。(約11km・団体歩行)。

【開催日】10月7日(水)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,200円

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

子どもゆめ基金事業

のら仕事に行こう ~集まれのらぼーず! のらガール!~

のら仕事のススメ。作ってとって、自分で食べる。だから、工夫して一生懸命世話をし、おいしいものを作る。シンプルだけど大切な、畑で育む生き抜く力。みんなで「のら仕事」をしよう!

【開催日】③7月4日(土)④8月29日(土)⑤9月12日(土)⑥10月10日(土)⑦11月14日(土)⑧12月5日(土)⑨1月16日(土)

【対象】小学生

【参加費】各回 2,000円

【会場】体験農園 in 岩名(佐倉市)

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net

ベビちび★おさんぽくらぶ

乳幼児(0~3才程度)と保護者を対象にした、自然遊びの子育てひろばです。感性ゆたかな乳幼児期に、のびのび自然あそびを親子で楽しみ、健康な心と体づくりを♪

【開催日】②7月8日(水)③9月9日(水)④10月4日(水)⑤11月11日(水)⑥12月9日(水)⑦1月14日(木)⑧2月10日(水)

【対象】乳幼児の親子

【参加費】各回 親子1組2名600円、1名追加200円

【会場】香澄公園(習志野市)

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net

ボランティア募集

千葉自然学校 キャンプボランティア募集!

自然が好き、子どもが好きな人集まれ! 子どもと流した汗と涙は一生忘れない! この経験は宝物になる! 初心者OK、アウトドアスキルアップに、自然好きな仲間作りに。興味ある方はまずお問い合わせください♪

【活動内容】①千葉自然学校が主催する子どもキャンプや親子キャンプの生活面、安全面のサポート②千葉自然学校が管理する教育委施設のイベントサポート など

【対象】18才以上で自然体験活動に興味のある方

【活動場所】佐倉市、君津市、市原市、南房総市

【活動までの流れ】説明会、OJT研修に参加し、ボランティア登録したのち担当より日程調整。

【待遇】交通費支給(上限4,000円)※イベントにかかる費用(食費・宿泊費)はこちらで負担します。

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net

他にも楽しいイベントもたくさん!

Webをチェック! 検索

●ろくすけ日和『自然の恵み』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

ろくすけの春はあっという間に過ぎ去り、季節は夏模様。青々と茂る木々の葉と青空の色合いがなんとも美しい季節となりました。

そんな初夏の休日、ろくすけの庭を散歩していると実をびっしりとつけた「クワ」の木に出会いました。甘酸っぱく病みつきになる美味しさの実はこの時期の里山のごちそうです。(余談ですが、「桑(クワ)」の漢字の意味は木を切っても、又(また)、又、又生えてくるという生命力の強さからこの名がついたそうです。)

さて、ろくすけの庭を改めてみると、果樹がたくさんあるという事に気が付きました。ウメ、クワ、ビワ、カキ、クリ、夏ミカンと、果物狩りをしたら年中楽しめる環境ですね。さらには、ツツジやスイカズラなど花の蜜が楽しめる植物や、フキやワラビなど食べられる山菜もあり、自然の恵みがたくさん楽しめる場所となっています。

そんなろくすけの恵みは訪れる皆さんと共有します。昨年度行われていた「平群ソーリズム」では参加者の方と一緒にフキノトウをとったり、「週末ホームステイ〜古民家に泊まろう!〜」では子どもと周辺にある野草を天ぷらにして食べたり、葉っぱで遊んだりと五感で「自然の恵み」を楽しんでいます。「こんなにフキノトウが獲れたわ!」「葉っぱの天ぷらおいしい!」とにっこり。自然の恵みには笑顔にする成分が入っているのかも知れませんね。

また、自然の恵みは周りに棲む鳥類や哺乳類、昆虫にとってもごちそうです。クワの実を取るときにはアリやクモ達も訪れていましたが、人間が全部独占するのではなく他の生き物と分け合う、ささやかですが生物資源共有の大切さも学んだ気がします。

さて、皆さんがろくすけを訪れるときはどんな自然の恵みに出会えるでしょうか?ぜひ楽しみにしてください。そして私も自然の恵みに出会った皆さんの笑顔に会えるのを楽しみにしています。

(文: かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地/だいすけ)

●千葉シニア自然大学 「春季宿泊研修(本科)」

今年はいつもとより夏が早い気がします。また梅雨入りも早いとか。そんな5月の28日、29日、本科の春季宿泊研修が南房総方面にて総勢26名の参加により実施されました。

私どもが行っている、自然体験活動の意義の一つとして、過疎と過密の問題への対応があると、岡島会長は言っておられました。江戸時代よりも人口が減っているという南房総地域は、このことを考える格好の舞台であるとも言えます。

1日目は天水のみによる棚田として全国的にも珍しい鴨川の「大山千枚田」を見て、石田理事長より保存会の活動についてお話を伺うことができました。

その後、千葉自然学校が管理する平久里の築180年の古民家「ろくすけ」で、遠藤前事務局長達が用意してくれた、地元の食材を存分に生かした昼食をとり、午後は郷土史家松本先生より、里見氏の遺跡と伝説をご案内いただきながらハイキングを楽しみました。

その夜は、廃校になった小学校を利用した和田町の自然の宿「くすの木」に泊まり、懇親会では全員の自己紹介により、お互いの理解を深められたことと思います。

2日目は生憎の雨で、たてやま・海辺の鑑定団の竹内理事長による沖ノ島のビーチコーミングは断念し、大房岬少年自然の家にてスライドを見ながらのお話と、平野大房岬公園長による説明を聞き、最後は道の駅「枇杷倶楽部」でそれぞれたくさんのお土産を買って無事帰路につきました。

それぞれ大きな研修成果が得られた旅行であったと思います。

(文: 小谷賢彦/ダニー)



みんなのおおきな食卓

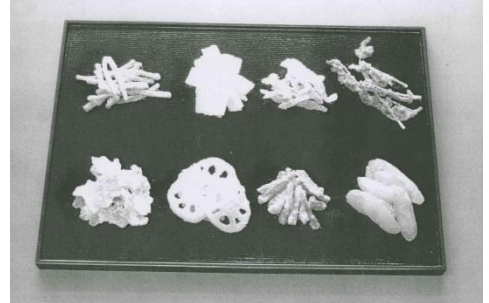
～遠藤さんの郷土料理のお話～

千葉の郷土料理のひとつに「てんもんどう」という砂糖菓子があります。「ごぼう・れんこん・にんじん・ふき・しょうが・かんぴょう」など季節の野菜などを白砂糖で煮詰めた砂糖菓子です。夏みかんピールもその仲間です。

八日市場市の銘菓「初夢漬」は、小茄子を丸ごと砂糖にしたもので、正月の縁起の良いお菓子として有名です。

「てんもんどう」は、本来は「天門冬」で海浜に自生するユリ科の多年草の「クサスギカズラ」の塊根を砂糖漬けにして薬用に供したのが始まりです。

江戸時代になって長崎に来航する唐船・オランダ船により砂糖が大量輸入されるようになってから、しょうが、れんこんなど野菜の砂糖漬けが作られるようになりました。これらの砂糖漬けをすべて「てんもんどう」と呼びお茶請けや野菜の保存に用いられるようになりました。
(文：遠藤陽子)



松田料理長のおすすめしシビ～旬の夏しシビ～

○鰺 (アジ)

- ・さんが焼き

鰺を3枚卸しにして、お腹の骨を包丁で削いでから皮を引いた身を包丁で細かく叩きます。大葉と皮を取り除いた生姜と長葱をみじん切りにします。鰺・大葉・生姜・長葱・味噌を混ぜ合わせます。大葉と大葉の間に先ほど混ぜた具を挟みます。フライパンに軽く油をひいて両面焼いたら出来上がり。

- ・鰺のまご茶

鰺を3枚卸しにして、お腹の骨を包丁で削いでから皮を引いた身を細引きします。大葉・生姜・長葱のみじん切りと白胡麻を先ほど細引いた身と混ぜて、温かいご飯に乗せて出汁（水に昆布を入れて煮立つ前に取り除き削りカツオを入れて火を止めて濾してから塩・薄口醤油で味を付けたもの）をかけたら出来上がり。

○鰹 (カツオ)

- ・鰹のタタキ

硬くて食べにくい皮を火であぶることにより柔らかくなり食べやすくなると同時に鰹特有の生臭みを消す効果もある食べ方。本来は、藁を使って焼いていました。節取りした鰹の皮目から塩を振って、強火で焼き皮目に焼き色がついたら裏側も軽くあぶり、氷水につけて冷えたらペーパータオルに並べて水気を取る。まな板に水気を切った身を置いて平造りにする（真ん中に切り込みを入れる）そのまま、上から酢をかけて掌で叩いてから皿に盛り付けて卸し生姜・ニンニクスライス・刻んだ茗荷・アサツキを載せて出来上がり、ポン酢でいただきます。

○鱸 (スズキ)

- ・鱸洗い

スズキは出世魚であり、洗いにはセイゴやフッコよりも脂の乗ったものが適しています。鱸を3枚に下ろしますが、鱸の面白いところは庖丁を背の部分と腹の部分に入れて尾の付け根を抑えて、尾から手で引っ張って身が剥がせるところです。3枚に卸した身を腹と背に節を取って、皮を引いてそぎ切りにしてからザルに並べて氷水を用意しておいて、ザルごと氷水につけて、箸などでかき回して身を引き締めてから素早く取り出してから、タオル等でふき取り器に盛り付けて出来上がり。

■君亀食堂・大房食堂 情報

これから暑い季節がやってまいります。皆様の健康を手助けできる料理と安全を心掛けていきますので、旬の食材を使った料理を堪能しにいらしてください。
(文：松田光央)

会員校紹介 平成27年4月現在

●団体会員（43団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館
(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団
「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森
(有)みねおかいきいき館、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校
NPO 法人安房文化遺産フォーラム、シークロップダイビングスクール
夢の花かん、NPO 法人鴨川自然学校、(株)かずさアカデミアパーク
食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ
自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)
グランビュー岩井、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校
NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、Sunset Breeze Hota
千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ
NPO 法人ちば里山センター、たのくろ里の村、森の時計・自然工夫塾
さんむ里の子自然塾(あいよ農場)、ELFIN 体験共育くらぶ
NPO 法人千葉・草原のこころファーム、森のようちえんはっぴー
環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(一社)運動の和

●賛助会員（7団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー
株式会社富楽里とみやま、株式会社 HMC 東京 旅行事業部
(社)アーバンネイチャーマネジメントサービス(谷津干潟自然観察センター)
スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬少年自然の家
(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園 (平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家 (平成20年4月～)



大房岬自然公園



大房岬少年自然の家



君津亀山少年自然の家

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉事務所のスタッフが 毎回一言つぶやきます。 お見逃しなく!

■今年は、5月中旬にもかかわらず台風の日本接近が既に7号までになっています。過去の気象から見ると、こうした年は冷夏になることが多いとの報道がされていました。私たちは、晴天の下で思いっきり弾ける子ども達の姿が見られる夏の到来を期待しています。
(オーシャン)

■使って減るものはおかね、増えるものは筋肉。この頃、腕や足に筋肉がついてきました。
(サニー)

■なぜ、自然学校のスタッフをやっているの？日々、自問自答しながら、志し高く。
(ボクサー)

■新緑の黄緑色から濃いみどり色へ、このまま夏までまっしぐら！
(たこはち)

■夏は来ぬ。残雪とブナの新緑。夏に向かう、このわくわくする気持ち。初夏という季節が大好きです。
(アリ)

■恵みの雨から夏の太陽へと。変化の中で、草木は成長していく。自然から学ばせていただいております。
(のりべん)

■お手伝いを、何とかお役に立ちたい一念で今日まで千葉自然学校での楽しい日々を思い起こしております。これまで大変お世話になりました。ありがとうございました。
(モリリン)

■今年の夏も暑くなりそうです。積極的に水分補給をしましょう。
(らうす)

■少しずつ少しずつ、バランス取りながら今を精一杯。パタパタを楽しみながら。
(けろっぴ)

■こども農園「うまうま天国」が収穫期目前。わくわくします。
(かつを)

《編集後記》

異動で2年ぶりに君亀より千葉事務所に戻りました。久しぶりの電車通勤に人酔いしつつ、ビルの中での仕事に、自然の大切さを改めて感じる今日この頃。再びニュースレターの担当になりました。情報発信がんばりますので、よろしくお願いします！
(かみい)



千葉自然学校の facebook ページでも活動紹介等の情報を掲載しています。ぜひご覧ください！

千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター（年4回発行）

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階
電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

■安房事務所 〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23 大房岬少年自然の家内
電話・FAX：0470-33-2693

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

